

平成16年度事業報告書

(平成16年4月1日から)
(平成17年3月31日まで)

1. 実施事業の要旨

本年度は、中部国際空港も順調に開港し、日本国際博覧会「愛・地球博」も無事開催され中部圏の2大プロジェクトがすでに動き出し、先ずは東海地区への経済発展に寄与することが期待されていますが、今期を通して建築環境は厳しい状況に変わりはないものと思います。

世界の若手建築家が集う、国際フォーラム(IFYA NAGOYA 2005)の委員会に参加し、その活動に努めております。

県・市の耐震強化対策として「耐震化促進事業」に基づく無料耐震診断は既に峠を越えて多くの受託実績を挙げました。対処方法としては昨年度と同じ方法で対応し、耐震相談及び耐震改修補助事業にも、全面的に行政への耐震事業に協力致しております。

尚、愛知県伝統構法型木造住宅耐震診断マニュアル作成協力を昨年度末に終え、その講習会と推進に協力して、木造住宅耐震化の普及の一翼を担っております。

本年度は継続事業としてのデザインコンテストが終結する為、今迄に実施された作品を画像編集し、5月に万博瀬戸会場で建築キャンペーン事業として市民社会に本会の存在を大いにアピールする事にしました。又、指定講習会及び被災度区分判定基準・復旧技術指針講習会を開催し、行政との関係を密にし、技術の向上と情報の伝達に努め、公益法人の役割を果たしました。

また、会員の増強には努めましたが、最近の減少傾向を抑えることは出来ませんでした。

以下、次の通り事業計画に沿って、事業の実施概要を報告いたします。

2. 重点事項

- 1) 本、建築士事務所協会が公益法人としての役割を、県・市民に理解されるように、会員の資質・能力・技術の向上を図った。
- 2) 日事連基本問題の基本ビジョンを踏まえ、本会においても検討及び推進した。
- 3) 本協会の健全な発展を計るため、各委員会の活性化を求めて、東海北陸ブロック協議会への積極的な参加と研修会及び講習会を実施し、会員事務所の発展をめざした。
- 4) 愛知県建築物地震対策推進協議会へ全面協力した。
- 5) 愛知県伝統構法型耐震診断マニュアル作成協力後の講習会を実施し、その推進に協力した。
- 6) 従来大会最後の東海・北陸ブロック内での、第29回全国大会(富山)に多数が参加した。

3. 事業報告

総務・財務に関すること

- 1) 日事連基本問題の基本方針及び建築設計・監理業等の着実な発展を図るため積極的に行政庁への要望、陳情活動の実施に努めた。

- 2) 第29回建築士事務所全国大会(富山大会)へ愛知会から80名が参加し、全国単位会との交流に努めた。
- 3) 諸規程の見直しを行ない、会長候補者推薦規約、役員候補者選考委員会運営規約を制定し、事務管理規程の専決事項と宿泊・日当を見直し改正した。
- 4) 東海・北陸ブロック協議会に参加し、その役割を遂行した。
- 5) 各支部会計書式の問題点を探り、共通の雛形書式作成に向けて努めた。
- 6) 中小企業退職金共済制度の普及に努めた。
- 7) 優良所員表彰・日事連功労者表彰の推薦をした。

教育・情報に関すること

- 1) 開設者、管理建築士の指定講習会及び関係行政機関との連絡会議の実施及び一般講習会を実施した。
- 2) 安全・安心事業推進のため管理建築士教育制度の確立に努めた。
- 3) 建築ウォッチングを実施した。
- 4) 建築士事務所キャンペーン事業を実施した。
- 5) 会員証を作成した。
- 6) 日事連経営・業務管理研修制度の検討をした。

経営に関すること

- 1) 告示1206号を基本とした業務報酬基準改定版の見直しを検討した。
- 2) 設計監理業務料ダンピング対策について地方公共団体に理解を求めた。
- 3) 「コンペ君」事業を推進した。
- 4) 建築士事務所賠償責任保険の加入促進に努めた。

技術に関すること

- 1) 行政機関等に協力し、耐震診断、耐震改修等の推進に努め、相談業務に積極的に対応した。
- 2) マンションの沈下測定に係る見解書を作成した。

広報・渉外に関すること

- 1) デザインコンテストを実施した。
- 2) 事業案内冊子の作成を検討した。
- 3) 建築関係団体への催事などに、積極的に協力するための体制作りを図った。
- 4) 会報の発行と、手帳を作成した。
- 5) 愛・地球博への出展に向けて準備した。

指導委員会に関すること

- 1) 建築士法第27条の2による指定法人業務を遂行した。

情報システム化特別委員会に関すること

- 1) ホームページの更新について検討した。
- 2) 愛知県公共事業支援統合システム(CALS/EC)について研究・検討した。